

10月新着おすすめ本

『赤崎水曜日郵便局』

楠本智郎 著

(KADOKAWA/角川マガジズ)



915.68

AK

赤崎水曜日郵便局は、熊本県南部の小さな町の海辺にある廃校になった小学校を利用したアートプロジェクトとして開局しました。ここへ、自分の水曜日の物語を送ると、知らない誰かの水曜日が届きます。“刹那的な信頼関係”によって結ばれる、手紙を通じた一期一会。そんなちょっと不思議な“片道書簡”を1冊の本に編みました。

(「BOOK」データベースより)

『スリー・カップス・オブ・ティー』

グレッグ・モーテンソン 著

(サンクチュアリパブリッシング)



372.257

MO

1993年、ひとりのアメリカ人男性がK2登山に失敗し、パキスタンの小さな山村で助けられた。村人たちの手厚いもてなしに胸を打たれた彼は、恩返しをしようと再びこの地に戻り、「女子のための学校を作る」と約束する。だが、お金もツテもない。しかもそこは女性の権利が制限され、タリバンのような過激派が勢力を広げる保守的なイスラム社会。いにかして男はこの無謀な取り組みを成功に導いたのか。全米が熱狂した真実の冒険ストーリー。

(「BOOK」データベースより)

『東京手みやげと贈り物カタログ』

朝日新聞出版 著



689.59

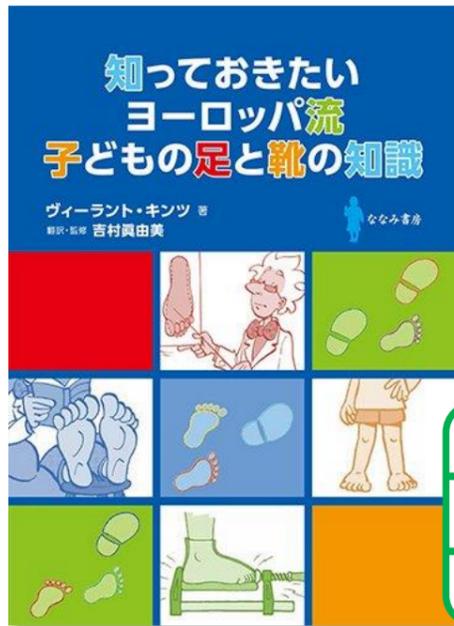
TO

“物語のある贈り物”って何だかトキメク。東京の手みやげと贈り物300。

(「BOOK」データベースより)



『知っておきたいヨーロッパ流 子どもの足と靴の知識』



ヴィーラント キンツ 著 (ななみ書房)

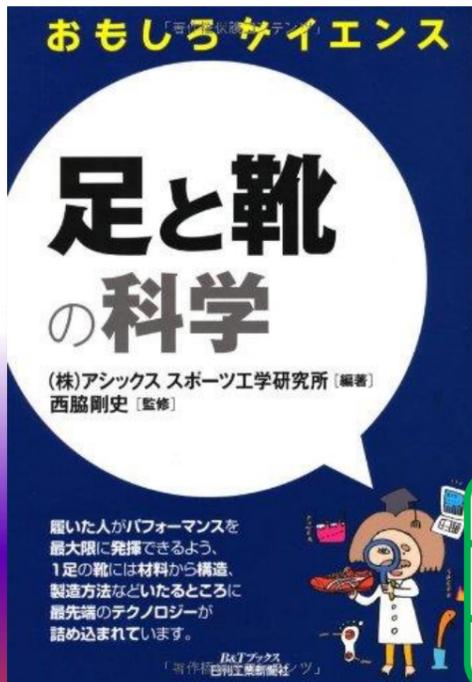
491.198

KI

子どもの足の発達のために知る価値のあるすべてのこと。靴を買う際に役立つ価値あるアドバイス。自主的に、そして学問的に。問題提起型で、実践向き。ウィットがきいた明瞭な構成。
(「BOOK」データベースより)

『足と靴の科学 (おもしろサイエンス)』

(株)アシックス スポーツ工学研究所 編
(日刊工業新聞社)



491.198

AS

靴は足の形など基本的な仕様に加えて、使用される状況に応じて身体機能が最大限に発揮されるよう材料、設計面などから様々な工夫がなされている。本書ではまず足に関する知識から、動きに応じて靴に求められる機能、運動の目的に適した靴の選び方までを、靴に込められた技術とともに科学的な側面からやさしく解説する。
(Amazon.co.jpより)

『マンガでやさしくわかるアサーション』

平木典子 著

(日本能率協会マネジメントセンター)



146.8

HI

地方エアラインで、キャビン・アテンダントとして働く出雲三江(26)。頼まれたら嫌とは言えない性格がわざわざわいして、仕事もプライベートもうまくいかず、ストレスをためる毎日。そんなある日、空港で偶然出会った女性に、アサーションを紹介されますが…。もうあきらめない!がまんしない!大切なことをしっかり伝え合う自己表現。自分も相手も大切にコミュニケーション!
(「BOOK」データベースより)

『よくわかるアサーション 自分の気持ちの伝え方』

平木 典子 監修

(主婦の友社)



146.8

YO

「アサーション」は、自分も他人も尊重しながら、お互いに気持ちのよい自己表現をするための考え方。その具体的方法を、平木典子先生の監修で分かりやすく紹介します。
(Amazon.co.jpより)